

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成20年5月8日(2008.5.8)

【公開番号】特開2006-270537(P2006-270537A)

【公開日】平成18年10月5日(2006.10.5)

【年通号数】公開・登録公報2006-039

【出願番号】特願2005-86042(P2005-86042)

【国際特許分類】

H 0 4 N 5/232 (2006.01)

H 0 4 B 5/02 (2006.01)

H 0 4 N 5/225 (2006.01)

H 0 4 N 5/765 (2006.01)

H 0 4 N 5/91 (2006.01)

H 0 4 N 101/00 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 5/232 Z

H 0 4 B 5/02

H 0 4 N 5/225 F

H 0 4 N 5/91 L

H 0 4 N 5/91 J

H 0 4 N 101:00

【手続補正書】

【提出日】平成20年3月24日(2008.3.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

外部機器との無線通信を行う撮像装置において、

通常消費電力で動作する通常動作モードと前記通常消費電力よりも低い消費電力で動作する低消費電力動作モードにて撮像動作を行うことのできる撮像手段と、

前記外部機器への送信出力を設定する送信出力設定手段と、

前記送信出力設定手段にて設定される送信出力で前記外部機器への送信を行う送信手段と、

前記送信出力設定手段にて設定される送信出力が所定の出力よりも大きくなる場合に、前記撮像手段の動作モードを前記通常動作モードから前記低消費電力動作モードに変更する動作モード変更手段とを有することを特徴とする撮像装置。

【請求項 2】

前記撮像手段は、前記通常動作モードおよび前記低消費電力動作モードにて動作可能な複数のデバイスから構成され、前記複数のデバイスの動作モードをそれぞれ設定することで、消費電力のそれぞれ異なる複数の動作モードで撮像動作を行うことを特徴とする請求項 1 に記載の撮像装置。

【請求項 3】

前記動作モード変更手段は、前記送信出力設定手段にて設定される送信出力が大きくなるにしたがって、前記低消費電力動作モードにて動作させるデバイスが増えるように前記撮像手段の動作モードを変更することを特徴とする請求項 2 に記載の撮像装置。

**【請求項 4】**

外部機器との無線通信を行う撮像装置において、  
撮像動作を行う撮像手段と、  
前記外部機器への送信出力を設定する送信出力設定手段と、  
前記送信出力設定手段にて設定される送信出力で外部機器への送信を行う送信手段と、  
前記送信出力設定手段にて設定される送信出力が大きくなるにしたがって、前記撮像手段に供給する電力量を小さくするように制御する電力制御手段とを有することを特徴とする撮像装置。

**【請求項 5】**

前記外部機器からの信号の電界強度を検出する受信強度検出手段を有し、前記送信出力設定手段は前記受信強度検出手段の検出結果に応じて送信出力を設定することを特徴とする請求項 1 ないし 4 のいずれかに記載の撮像装置。

**【手続補正 2】**

**【補正対象書類名】明細書**

**【補正対象項目名】発明の名称**

**【補正方法】変更**

**【補正の内容】**

**【発明の名称】撮像装置**

**【手続補正 3】**

**【補正対象書類名】明細書**

**【補正対象項目名】0 0 0 4**

**【補正方法】変更**

**【補正の内容】**

**【0 0 0 4】**

このような課題に鑑み、本発明は撮像装置に無線通信機能を備えたとしても、電流のピーク容量を超過してしまうことのない撮像装置を提供することを目的とする。

**【手続補正 4】**

**【補正対象書類名】明細書**

**【補正対象項目名】0 0 0 5**

**【補正方法】変更**

**【補正の内容】**

**【0 0 0 5】**

本発明は、外部機器との無線通信を行う撮像装置において、通常消費電力で動作する通常動作モードと前記通常消費電力よりも低い消費電力で動作する低消費電力動作モードにて撮像動作を行うことのできる撮像手段と、前記外部機器への送信出力を設定する送信出力設定手段と、前記送信出力設定手段にて設定される送信出力で前記外部機器への送信を行う送信手段と、前記送信出力設定手段にて設定される送信出力が所定の出力よりも大きくなる場合に、前記撮像手段の動作モードを前記通常動作モードから前記低消費電力動作モードに変更する動作モード変更手段とを有することを特徴とする。

**【手続補正 5】**

**【補正対象書類名】明細書**

**【補正対象項目名】0 0 0 6**

**【補正方法】変更**

**【補正の内容】**

**【0 0 0 6】**

本発明は、外部機器との無線通信を行う撮像装置において、撮像動作を行う撮像手段と、前記外部機器への送信出力を設定する送信出力設定手段と、前記送信出力設定手段にて設定される送信出力で外部機器への送信を行う送信手段と、前記送信出力設定手段にて設定される送信出力が大きくなるにしたがって、前記撮像手段に供給する電力量を小さくするように制御する電力制御手段とを有することを特徴とする。

## 【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】削除

【補正の内容】

## 【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】削除

【補正の内容】

## 【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】削除

【補正の内容】

## 【手続補正 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】削除

【補正の内容】

## 【手続補正 10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】削除

【補正の内容】

## 【手続補正 11】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】削除

【補正の内容】

## 【手続補正 12】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

設定される送信出力が所定の出力よりも大きくなる場合に、撮像手段の動作モードを通常動作モードから低消費電力動作モードに変更することによって、撮像装置に無線通信機能を備えたとしても、電流のピーク容量を超過してしまうことがない。

## 【手続補正 13】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】削除

【補正の内容】